



**町田市高齢社会総合計画
の基本的な考え方
(第4次改定素案)**

計画期間:2009年度～2011年度

パブリックコメント実施結果

『町田市高齢社会総合計画の基本的な考え方』（第4次改定素案） に関する意見募集の実施概要

町田市では、「町田市高齢社会総合計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）」を策定し、総合的・計画的な視点から高齢者福祉施策を進めています。

「町田市高齢社会総合計画審議会」では、同計画の第4次改定（計画期間 2009 年度から 2011 年度）の策定について、市長からの諮問を受け、計画に関する基本的な考え方をまとめました。

同計画の第4次改定について、理解を深めていただくために「素案」を作成し、市民のみなさんからご意見を募集いたしました。

I. 意見の募集期間

2008 年 12 月 19 日(金)から 2009 年 1 月 19 日(月) まで

II. 意見の募集方法

- 「広報まちだ12月11日号」に内容掲載
- 「町田市ホームページ」に内容掲載
- 高齢者福祉課（市役所本庁舎、健康福祉会館分館）、市民相談室（市役所本庁舎）、市政情報「やまびこ」（市役所中町分庁舎）、市民協働推進課（市民フォーラム）、各市民センター、木曽山崎センター、玉川学園文化センター、各図書館、町田市民文学館、各地域包括支援センター、各高齢者福祉センターでの資料配布
- 町田文化交流センターでの市民説明会
- 関係団体への資料送付

III. 寄せられたご意見の内訳

33名、6団体の方から、述べ107件のご意見をいただきました。ご意見の内訳は次ページのとおりです。

項 目		件数
第4次計画（案）全体について		13件
介護保険事業	介護保険給付（在宅・施設サービス）	6件
	介護保険給付（地域密着型サービス）	1件
	地域支援事業（包括的支援事業）	1件
	地域支援事業（介護予防事業）	3件
生活支援事業等	高齢者の生きがい・居場所づくり	10件
	多様な住まいの普及	1件
	生活支援サービス	2件
	要援護高齢者支援	3件
	高齢者の権利擁護	1件
第4次の重点取り組み	介護支援ポイント制度について	10件
	介護予防プログラムへの参加促進	13件
	介護人材の育成・確保	9件
	介護基盤整備の促進	4件
	介護保険事業者指導の充実	1件
	家族介護者への支援	2件
	認知症高齢者支援体制の充実	3件
	高齢者見守り支援ネットワークの推進	11件
介護サービス量等の見込みについて		4件
標記について		5件
その他		4件

ご意見の概要と市の考え方は次ページ以降をご覧ください。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は要約して掲載しています。

○第4次計画（案）全体について

ご意見の概要	市の考え方
<p>・市民の責任と行政の責任を明確化し、介護保険制度という狭い枠組みの中だけにとらわれるのではなく、他の行政機関や民間、市民が継続的に参加、推進していく仕組みを盛り込んで欲しい。（同様2件）</p>	<p>・市では庁内の他部門との連携や市民・事業者との協働により計画を推進してまいります。 また、地域団体、ボランティアやNPO、民間活動団体、社会福祉法人など各団体とも連携、協働を図り、それぞれの活動やネットワークの充実を支援してまいります。</p>
<p>・抽象的、観念的な記述が多くわかりにくい。できるだけ、具体的な記述にしてほしい。（同様2件）</p>	<p>・計画の策定にあたっては、出来るだけ具体的に記述してまいります。</p>
<p>・市民意識調査結果の、全体（N-778）がわかりません。</p>	<p>・全体（N-778）とは、回答者数が全体で778人であったということです。計画書の中では、その旨を明確に表示してまいります。</p>
<p>・第4次計画は高齢者にとって、温かみのある計画であってほしい。（同様2件）</p>	<p>・第4次計画は、①高齢者の社会参加・生きがいづくりの推進②介護予防重視型システムの充実③高齢者の尊厳ある暮らしの推進④住み慣れた地域での生活継続の推進⑤安心した生活のための仕組みの推進の5項目に沿って高齢者福祉を進めてまいります。</p>
<p>・計画の柱となる5項目は妥当だと思う。（同様1件）</p>	
<p>・介護保険サービスの施設整備の「一部の地域密着型サービスが未整備」「特養待機者が減少しない」ということの原因をどのように分析されているのか。</p>	<p>・地域密着型サービスの未整備は小規模多機能型居宅介護のことです。市では運営事業者を募集してきましたが、介護報酬が低いことや他のサービスと併用出来ないなど制度上の理由から事業者の参入がなく未整備になったと考えています。 また、特養待機者は2004年をピークに減少していましたが、要介護者の増加や施設の開設に伴う新たな申込者などにより2008年10月の調査で再び増加に転じたものと考えています。</p>

○介護保険事業

■介護保険給付（在宅・施設サービス）

ご意見の概要	市の考え方
<p>・介護保険ホームヘルパーによる生活支援サービス範囲の拡大を願う。（同様1件）</p>	<p>・日常生活に必要な支援として厚労省の見解を踏まえ、ご意見は参考とさせていただきます。</p>
<p>・在宅サービスにおいて介護度の軽い予防給付の方の場合、介護保険は自立に向けての支援となったが、依然ヘルパーまかせの人が多くいる。</p>	<p>・介護サービス利用者やケアマネジャー及びサービス事業者側に対しても介護保険制度の理解が必要と考えます。今後も介護保険制度の周知に努めてまいります。</p>
<p>・低所得者対策について、町田市独自の支援対策を実施してほしい。（同様2件）</p>	<p>・生計困難者に対する利用負担額の軽減としては、利用者負担額10%のところ7.5%に軽減する制度があります。生計困難者対策を検討の際のご意見として、参考にさせていただきます。</p>

■介護保険給付（地域密着型サービス）

ご意見の概要	市の考え方
<p>・小規模多機能などの地域密着型サービスは、介護保険内での運営が困難である。市は現状を把握し対策をたてるべき。</p>	<p>・新規の地域密着サービスは他市でも整備が進んでおらず、整備をしてもなかなか軌道に乗らないところもあるようです。小規模多機能型については、各圏域に一施設整備を目標に立てております。ご意見については整備を進めていくうえでの参考にさせていただきます。</p>

■地域支援事業（包括的支援事業）

ご意見の概要	市の考え方
<p>・相談窓口としての「包括支援センター」の人員と権限の拡充を望む。</p>	<p>・他の相談機関拡大などの役割分担変更も含めた見直しを実施し、地域包括支援センターの機能を充実したいと考えています。</p>

■地域支援事業（介護予防事業）

ご意見の概要	市の考え方
<p>・認知症予防対策の強化と認知症の進行遅延医療の公的支出を提案する。 （同様1件）</p>	<p>・認知症予防と普及啓発を目的とした講演会や、認知症発症遅延事業を実施しています。また、認知症高齢者相談事業を実施しています。ご意見は事業の見直しの際に参考にさせていただきます。</p>
<p>・介護予防検診の際、健康な人に対しても介護予防事業に参加を薦めてはどうか。</p>	<p>・介護予防健診受診時に、医療機関において介護予防に関するちらしを配布し、元気な高齢者が参加できるプログラムの紹介をしています。今後も医療機関との連携を密にしながら、特に介護予防が必要な高齢者も含め参加者の増大を図ってまいります。</p>

○生活支援事業等

■高齢者の生きがい・居場所づくり

ご意見の概要	市の考え方
<p>・ふれあい館が、利用者にとって明るく楽しく過ごせる場であることを望む。 （同様1件）</p>	<p>・高齢者福祉センター（ふれあい館）は市内に6箇所あり、来館者が歌、踊り、囲碁、将棋などを楽しんでいます。気軽に参加できる介護予防事業も開催しています。今後も利用者が楽しめる場づくりに努めてまいります。</p>
<p>・高齢者の生きがい・居場所づくりの促進に「いきいきパブ」のような誰でも気楽に集える集会所の整備を希望する。 （同様3件）</p>	<p>・市内の老人クラブやシルバー人材センター会員が、地域で活躍されています。市は毎年補助金を交付して支援しています。また、市内には市民のみなさんが自主的に運営している60箇所以上のふれあいサロンがあります。今後も老人クラブやシルバー人材センターの支援、ふれあいサロンの周知などに努めてまいります。</p>
<p>・生きがいづくり運動として、自治会・老人会・シルバー人材センターに、地域推進員を指名して、講習等を実施する補助金を交付してほしい。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に町内会・自治会との連携を深めてもらい、市からも支援する方向で高齢者に企画する側への参加を促す施策を講じていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会・自治会の活動は、地域において中心的な役割を担っており、本計画を連携して進めてまいります。ご意見につきましては、参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用し、市民が参加し易い「シルバーカレッジ」の講座を増やして。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーカレッジの講座は、2009年度に講座を増やす予定で考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に限ったスポーツ大会(種目別)を実施してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都主催で毎年シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOが開催されております。ご意見につきましては、今後の事業の参考とさせていただきます。

■多様な住まいの普及

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーピアと老人ホームの違いは、又町田市では各々何戸あるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーピアは、住宅に困っている65歳以上の一人暮らしや高齢者世帯を対象とし、高齢者対応の緊急通報システムなどを備え、生活協力員も居住する高齢者集合住宅です。地域包括センターと連携しながら高齢者に支援を行っており、市内に452戸あります。 ・老人ホーム入所事業の老人ホームは原則として65歳以上で、環境上又は経済的理由により居宅での養護が困難な方が入所できる施設で、市内に1箇所、定員は50人です。

■生活支援サービス

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯に安心できるきめ細かい情報の提供を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、冊子「高齢者のための福祉のてびき」、ちらし、ホームページなどで、高齢者に関する情報提供を行っています。また地域包括支援センターが、「センター便り」を持って高齢者の自宅訪問を行い、相談に応じています。今後の情報提供の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・参加できる事業がすぐにわかるようなシステムがあればと思う。 	

■ 要援護高齢者支援

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・介護疲れから介護する人のストレスが虐待にならないよう対策を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市では高齢者虐待防止連絡協議会を設置して関係機関と地域包括支援センターとの連携やネットワークについて協議を進め、虐待の早期発見及び早期対応が出来るよう進めていきます。高齢者を介護している家族の身体的、精神的負担などの軽減を図るため家族会の拡大や相談体制の充実など進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・家具転倒防止事業を進めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は65歳以上のひとり暮らし世帯と高齢者世帯に、金具代のみ負担で家具に金具を取り付ける事業を実施しておりますが、来年度から別制度で全世帯を対象にした事業に拡大されます。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人住まいの高齢者が緊急通報システムを手軽に設置利用出来るようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は日常生活上常時注意を要する状態にある、65歳以上の高齢者世帯の方に、ペンダント型発信器により消防署等へ通報できる機器を貸し出しております。住民税非課税の方へは無料で貸し出しています。今後、事業を継続するにあたりご意見は参考とさせていただきます。

■ 高齢者の権利擁護

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の権利擁護体制の確立を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の判断能力が低下した場合でも、高齢者が安心して生活できるように、権利擁護の取り組みを推進していきます。また、増加が予想される高齢者の虐待に対して、迅速に対応し、高齢者の虐待防止を推進します。

○第4次の重点取り組み

■ 介護支援ポイント制度について

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・この制度がボランティアではなく、システム化されて実施されることを望む。 ・実施にあたっては、制度のPRを行い、輪を広げる方策をたててほしい。(同様2件) ・対象者を65歳以上に限定しないで。(同様2件) ・ポイントの還元をどのように組み立てるのか。 ・実施にあたっては、十分な研修を行うべき ・活動の場を施設に限定せず、また施設の負担にならない仕組みづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画では介護支援ポイント制度の名称も含め公募やPRをしながら制度を開始していきたいと考えています。 ・対象者は、介護保険制度における地域支援事業制度としているため、65歳以上の高齢者としています。 ・活動に参加した場合には、1回の参加で100円分程度のポイント交付を考えております。 ・参加を希望する高齢者は、はじめに管理機関に登録し管理機関が実施する研修を受講します。活動については、管理機関が登録者と受入れを希望する施設との調整を行います。 ・本制度創設については、介護保険制度における地域支援事業に位置づけられ、高齢者自身の社会参加活動を通じて、介護予防の推進や地域貢献の支援を主眼として考えております。活動に参加することにより、高齢者自身の介護予防を推進するものです。制度の実施にあたりご意見を参考にさせていただきます。

■ 介護予防プログラムへの参加促進

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防プログラムに有酸素運動を推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングなどの有酸素運動は、脳の生理的な機能を高め、認知症予防につながります。また、生活習慣病の予防やうつ的な気分の解消、下肢筋力を鍛え転倒予防などにもつながります。ご意見につきましては、健康づくりや介護予防事業を進めるうえで参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防プログラム参加について、あまり周知されていない。家族への働きかけも効果的だと思う。広報を含め周知方法の検討を。(同様4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりや介護予防は、高齢者だけでなく家族も含めた若い世代や元気な時からの取り組みが重要と考えます。ご意見はより効果的に介

件)	護予防の普及・啓発を進めていくうえで参考にさせていただきます。
・ 予防重視型システムの充実に関して、「一般高齢者・特定高齢者一体化事業」とあるが、市民の創意で元気な地域づくりを進める施策を進めてほしい。(同様2件)	・ 地域支援事業の中で特定高齢者・一般高齢者一体化事業を展開し、より市民との協働をすすめて、介護予防の地域づくりを進めてまいります。ご意見につきましては、今後事業を進めていくうえで、参考とさせていただきます。
・ 定年後まだ余力の残っている男性が活躍できるような事業の促進が課題である。	・ 定年後の男性が、家に閉じこもらないように、社会参加や生きがいづくり、男性に魅力的な介護予防サービスの創意工夫が必要と考えます。ご意見につきましては、今後事業を進めていくうえで参考にさせていただきます。
・ 市内の数箇所にミニバスを運行し外出支援で介護予防の強化を。(同様2件)	・ コミュニティバスの拡充など高齢者の交通手段を充実させることは、閉じこもり予防や介護予防につながります。路線バスが運行されていない地域では、コミュニティバスをはじめとした、地域の実態に即した交通手段を導入することで、高齢者等の外出の機会拡大が図れると考えています。

■ 介護人材の育成・確保

ご意見の概要	市の考え方
・ 介護施設人材の育成、確保への支援を望む。(同様4件)	・ 質の高い介護サービスを提供するためには、専門性の高い人材の確保が不可欠です。しかし近年は福祉の人材が不足し、サービスの量や質が十分に確保できないことが懸念されています。一人ひとりにあった介護サービスが供給され、高齢者が尊厳ある暮らしを実現できるよう市は支援を進めてまいります。
・ 「介護人材の育成・確保を支援する取り組み」の具体的な項目として、「福祉・介護人材のネットワークを強化してほしい。(同様3件)	
・ 介護人材の育成・確保のための取り組みに関して、市としての独自施策は考えているのか。	・ 市内の障がい者、高齢者福祉施設で働く職員の人材育成と確保を目的に、町田市では福祉施設の職員が海外の福祉先進都市へ研修に行く費用を補助しています。2008年度は10人の施設職員が研修に参加しました。今後は研修で得た情報を福祉職員、福祉を学ぶ学生、市民へ

	<p>伝える報告会などを行っていきます。</p> <p>また市では、高齢者福祉施設や福祉サービス事業所で働く職員を対象とした研修の実施や支援を行ってしています。ご意見につきましては、本計画を進めていくうえで参考にさせていただきます。</p>
--	--

■ 介護基盤整備の促進

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームの入所待機者を減らすために特養整備を進めてほしい。(同様2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入所待機者は2008年10月の調査で、約1,700人おられます。入所の必要性や緊急性の高い方(要介護3以上を想定)の待機者解消を目指し、特別養護老人ホームの整備を促進してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設設備計画、地域密着型サービスとは何か 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設整備計画とは、特別養護老人ホームなどの施設を整備する計画です。地域密着型サービスは、利用者が住み慣れた地域を離れずに受ける介護サービスで、認知症高齢者グループホームなど6種類あり、原則として利用者は市民に限られています。

■ 介護保険事業者指導の充実

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・「介護保険の適正な運営を確保するため」とあるが、どのような内容か。事業者と保険者の責任をどう考えるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の適正化を図るために、市は給付費通知による利用者自身の確認や事業者への実地指導、集団指導を行います。利用者への説明責任は事業者にあり、市は保険者として、監督責任があると考えます。

■ 家族介護者への支援

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の精神的孤立感を解消する方策や核家族化、老々家族の増加に伴う対策を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の身体的、精神的負担などの軽減を図るため、様々なニーズに対応するためのサ

	ービスを検討します。また地域包括支援センターによる、家族会の拡大や介護経験者を活用して家族介護者からの相談体制を充実します。
・全体的に在宅への支援の充実が不足気みである。訪問介護者の充実がもっとあっていいと思う。介護家族を支えるためには、家族会だけでなく介護家族の休息や息抜きも視野に入れた施策が欲しい。	・介護家族の休養のために、介護保険サービスの短期入所生活介護や短期入所療養介護（ショートステイ）を、計画的に利用していただくことが重要です。ご意見は今後の参考にさせていただきます。

■ 認知症高齢者支援体制の充実

ご意見の概要	市の考え方
・認知症対策について、市や地域包括支援センターの方針が地域に浸透するようお願いしたい。	・認知症について近隣の人々が、正しく理解し、共に支えあい、協力し合って、誰もが安心して、住み慣れた地域で長く暮らしていけるような地域づくりを目指すため、認知症予防サポーター養成講座、講演会の開催を地域商店や企業、教育現場等へ拡充していきます。ご意見につきましては、多くの他部門との協力体制を構築するにあたり参考とさせていただきます。
・認知症高齢者支援体制図で、計画が理解しやすい。	
・具体的にどのように進展させるか。長期的、継続的に多くの他部門の協理解が必要と思う。	

■ 高齢者見守り支援ネットワークの推進

ご意見の概要	市の考え方
・地域包括支援センターを活動拠点として、コーディネーターを配置し、地域ぐるみでネットワークをつくること。（同様5件）	・地域包括支援センターを地域づくりの拠点とし、民生委員、町内会・自治会、老人クラブ、協力員・協力機関などの活動により高齢者の見守り支援を進めています。 ご意見は今後も見守り支援の仕組みづくりをさらに進めていくうえで参考にさせていただきます。
・高齢者見守りネットワークの推進に関して、見守られる高齢者をどのように確定するのか。	・地域包括支援センターを中心に民生委員や地域の見守り協力員・協力機関から寄せられる情報などをもとに対象者の抽出を考えております。

<ul style="list-style-type: none"> ・東玉川学園も高齢者が増え、ひとり暮らし高齢者が多くなった。東玉川学園に民生委員を増員していただけないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りについて、地域の民生委員の役割は非常に重要であると考えており、民生委員が充足されていない地区があることは認識しております。ご意見につきましては、地域のネットワークを進めるうえで参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターで「見守り協力員」をしているが、見守られる側のプライバシーの壁を感じる。何らかの公の後ろ盾が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターを拠点とし、協力員・協力機関として登録をされた市民が地域の見守り活動を行っています。ご意見を参考に、バッチやステッカー又は身分証などについて検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・心身障がい者と地域住民の理解を深める施策と、本人・家族に対する安心安全な生活を支援するネットワーク作りが必要である。(同様1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターは高齢者見守り支援ネットワークの拠点として考えています。円滑なコーディネート業務が図れるよう、「地域ケア会議」「エリア会議」に関係者の参加をいただき、見守り支援の仕組みづくりを共有するよう努めます。医療・看護・介護など、専門的な役割を担う方々との連携体制づくりに向け、ご意見を踏まえて実施してまいります。

○介護サービス量等の見込みについて

ご意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・所得に配慮した介護保険料の設定を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の7段階を9段階10区分に見直し、所得に応じた設定を行ってまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・2010年度の特養整備計画は344床で、これに365日かけると年125,560人となるはずだが、介護サービス量の見込みでは17,400人となっており理解できない。同様にグループホームも理解できない。(2010年度は36名で年1,728人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養やグループホームなど入所系施設の介護サービス量見込みは、月ごとの利用者数を推計し12ヶ月をかけあわせた数値です。算出にあたっては増加する分だけでなく、現在利用されている分も含めて計算しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・第4次計画の見込み量の算定論拠を示して欲しい。高齢者が増えていき要介護認定者数も増加していく。在宅系介護サービスの見込み量がこれでよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2006～2008年度の実績を基に伸びを見込んで推定しています。但し特養については2011年度には344床分が稼働しますので待機していた方が施設の利用を考えると考え、その分在宅にいた人は減ると見込んでいます。

<p>・介護保険料の算定基準を明確に示してほしい。</p> <p>1) 施設サービス量見込みは？</p> <p>2) 介護予防施策の効果、認定者総数の予測は？</p> <p>3) 給付費サービス量見込みは？</p> <p>4) 保険料の算定は？</p>	<p>1) 介護療養型医療施設は 2011 年度末までに転換することとなっています。その分老人保健施設又は特別養護老人ホームに移動していくと考えます。</p> <p>2) 高齢者人口の増加と認定者割合、利用者割合が直近の状態継続するものとして推測しています。</p> <p>3) 第3期では大きな制度改正がありましたが、今回は主に介護報酬の見直しとなります。</p> <p>4) 現在の状態で推移すれば、保険料は下がると考えています。</p>
--	---

○標記について

ご意見の概要	市の考え方
<p>・「介護を受けることなく暮らせるために」という表現に違和感を感じる。介護予防という意味なら他の表現の方が良い。(同様3件)</p>	<p>・ご意見を参考に「いきいきと自分らしく輝けるために」に変更いたします。</p>
<p>・パブコメ資料のイラストは元気高齢者だけでなく車イスなどの人をいれるべきでは？</p>	<p>・資料作成時にはイラスト等にも十分に留意して作成してまいります。</p>

○その他

ご意見の概要	市の考え方
<p>・終末期に入った高齢者を薬漬け、ハーネス漬けでただ生かしておくのではなく、出来るだけ苦痛を取り除いて家族、友人等と交流を保ちつつ、終末のときを迎えることが出来る様に対策を講じたい。</p>	<p>・ご本人・ご家族の意向と医師の判断になることと考えます。尊厳に関するご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>・説明会が1回だけでは少ない。意見募集期間が短い。</p>	<p>・市政に関するご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>・町田市の職員のラスパイレス指数を早急に100以下に下げるべきである。</p>	
<p>・限られた財源なら特養増設を優先し、市庁舎建設は後回しにすればよい。</p>	

町田市いきいき健康部高齢者福祉課

町田市中町1-20-23

TEL 042-724-4048

2009年2月